

ひろしま自然保育 活動報告書

森のようちえん まめとっこ

1 ようちえん【そらまめ】の活動

天候、季節に関わらず森で遊びを通して育つようちえんです。自由遊びを中心に、野外料理・にじみ絵・季節行事・畑仕事などに取り組みました。



【雨の日の実験遊び】

1月の雨の日。葉っぱを流す遊びから、水路に溜まっていた大量の葉っぱを押し流し始めたことで研究心に火がついたようです。水路の上流・下流を行ったり来たりしながら水の流れ、葉っぱの流れる様子を観察。木はどうか？石はどうか？と試しながら遊んでいました。



【野外料理】

まめとっこでは月に2回ほど野外料理をしています。野菜、米、味噌をそれぞれ持参。自分で持ってきた野菜を包丁で切り、米をといで水加減し、拾い集めた枯葉や枯れ枝にマッチで火をうつしてごはんを炊き、味噌汁をつくります。



ある日は、畑で収穫したさつまいものツルを味噌汁に入れました。ツルの皮をむいて、ポキポキ折って鍋の中へ。畑や身の回りの自然の中から得られたものを調理して食べる経験もしています。



【にじみ絵】

安佐南区区内にお借りしている古民家で、学年別でにじみ絵（濡らし絵）をしています。赤・青・黄の3色だけなのに、園児一人ひとりの個性に日頃見聞きしている経験などの背景が加わり、描く過程もできあがりも人によって違います。【写真は年長】



【みつろうキャンドルづくり】

ある日の野外料理の合間の時間を使い、12月のクリスマス会に向けて、みつろうキャンドルをつくりました。融かしたみつろうに芯を浸してすぐ引き上げ、少し風にさらすと固まり、それを繰り返すと少しずつ太くなります。欲張って長く浸けるとかえって溶けて細くなります。どうすれば太くまっすぐなるのか、考えながら取り組んでいました。



【サザンカで草木染め／年中進級手仕事】

2月から集めていたサザンカの花弁を使って弁当包みを染めました。古民家の庭先で拾ったどんぐりで模様つけ。輪ゴムをかけるのに苦労している子は近くの子が助けてくれました。本番は染料づくり。少し酢を加えたお湯の中でサザンカの花弁をもんでつぶすと少しずつ色が出て、ぶどうジュースのような色になりました。泡もたくさん。サザンカの花弁を取り出して染液に布をつけること1時間弱。きれいなピンク色に染まりました。どんぐりもサザンカもまめとこの園児にとっては身近な存在。その身近な自然物の変化やそれを使って身の回りのものを彩ることができる不思議やおもしろみを感じたようです。





【年長登山&ナイフで鉛筆削り】

年長は卒園に向けて 3 回登山に挑戦しました。最後の総仕上げの登山は、それまでの山と比べものにならない距離、勾配。親子組(ようちえん入園前の親子を対象としたグループ)時代も含めると 5 年近く野外で育ってきた彼らですが、仲間のうち 2 人が体調不良などのため来られなかったこともあるのか、今までにないきつさを感じたようです。それでも仲間を感じながら登りきることができ、晴れ晴れとした表情を見せてくれました。

山頂では卒園記念品のナイフで鉛筆を削りました。もうすぐ卒園、小学生。まめとっこ生活の最後に新しい挑戦をしましたが、「ちょっと怖い」ナイフを扱いながら、「ちょっと難しい」「でもできるようになりたい」という自分の心とも向き合っていたようです。削った鉛筆は 1 本だけなので、思い描いたように削れなくて悔しい気持ちに向き合った子もいましたが、自分で削った鉛筆で早速自分の名前を書くなど試し書きをして誇らしい表情を見せていました。

次の新しい環境に歩み出す年長にとって重要な経験のできた一日になったと思います。

2 研修など

- ① 森のようちえん全国交流フォーラム in 東京
- ② 全国自然体験活動指導者集会 2017 (全国キャラバン) in 江田島
- ③ “森と自然を活用した保育・幼児教育”に関する自治体勉強会 in 関西～保育・幼児教育の質の向上、森林環境教育・森林 ESD の促進、地方創生・移住促進に向けて～
- ④ 平成 29 年度森林環境教育(森林 ESD)活動報告・意見交換会
- ⑤ 森のようちえん「語り場」救急講習

園児母・スタッフ・親子組会員で、以前からお世話になっている日本赤十字社の講師の方をお招きして幼児安全法を受講しました。